

# デジタル日めくり電波時計

## 取扱説明書(保証書付)

このたびはデジタル日めくり電波時計をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書を良くお読みになり正しくお使いください。

また、保証書とあわせて、いつでも再読できるように大切に保管してください。

\*この時計は日本国内用です。海外の時刻電波には対応しておりません。

## 特長

- 電波を正しく受信する所では時刻調整(アラーム時刻調整を除く)が不要です。
- 受信周波数[福島局(周波数40kHz)/九州局(同60kHz)]の自動切替。
- 電波を受信しない場所、しない間はクオーツの精度で作動します。
- 病院の休診日やゴミの回収日などの確認に便利な第何曜日表示が可能です。
- 冠婚葬祭に便利な六曜表示機能付です。
- 誕生日などの記念日を最大18日分設定できます。
- 温度・湿度計付で室温、湿度が一目でわかります。

## 仕様

- オートカレンダー表示：2000年1月1日～2099年12月31日までの月日、曜日  
時刻表示：時分秒(12時間表示)  
デイリーアラーム機能：電子音(2分間)、スヌーズ機能付(5分間)  
受信電波：標準電波JJY、周波数：40kHz/60kHz(自動選局)  
自動受信：1日1回(最多4回)次回の受信までクオーツの精度で動いています。  
表示精度(受信後)：±1秒以内  
精度(クオーツ)：平均月差±30秒以内  
温度計測機能：計測範囲=−5°C～+50°C 表示単位=0.1°C  
計測精度=±2°C (0°C～40°C)  
※温度が−5°C以下では「LL.L」、50°C以上になると「HH.H」と表示されます。  
湿度計測機能：計測範囲=20%～99% 表示単位=1%  
計測精度=±10%  
※湿度が20%以下では「LL」、99%以上になると「HH」と表示されます。  
使用温度範囲：0°C～50°C(この温度範囲を超えると液晶表示が見えにくくなることがあります。)  
使用電池：単3形乾電池×3本(マンガンまたはアルカリ乾電池)  
電池寿命：約1年間(マンガン乾電池使用でアラーム1分/日使用した場合)  
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

## リセット機能について

リセットスイッチを押すと、設定されている日付・時刻やアラーム時刻が初期状態に戻ります。  
電池をセットした後に表示がおかしい場合や、時刻・アラーム時刻の設定時に操作が分からなくなったら場合は、先端の細い棒でリセットスイッチを押してください。

## 時計の設置について

自立スタンドを立てて置時計としてお使いください。掛け時計としてお使いになる場合は、表示の見やすい場所に本体裏側の壁掛け穴を取り付けたネジ、L字金具等に掛かるように取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落下するなど危険ですので確実に設置してください。(時計を取り付けた後、上下左右そして手前に軽く動かして正しく取り付けられていることを確認してください。)

## 安全上の注意/使用上の注意

### 注意

- 液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶画面のガラスが壊れてしまう原因となる場合があります。
- 液晶画面が壊れた場合、表示画面内部の液体には触れないでください。万一以下の状態になったときはそれぞれの応急処置を行ってください。
  - (1) 口に入った場合はすぐにうがいをして医師に相談してください。
  - (2) 目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低15分以上洗浄したあと、医師の治療を受けてください。製品を不安定な場所や振動のある場所に設置しないでください。
- 極端な低温や高温な場所および湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。
- 製品を分解・改造などしないでください。
- 電池は $\oplus\ominus$ の方向を正しく入れてください。
- 使い切った電池は本体から取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池を取り出して保管してください。
- 新旧・異種の電池を混用しないでください。
- 落下や衝突など強いショックを与えないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。
- 電池の着脱を長く伸ばした爪で行うと、思わぬケガをおこす恐れがありますので、長く伸ばした爪での着脱はおやめください。

### ◆ 液晶パネルについて

- 静電気や圧力を加えることにより、黒い線や縞模様など発生することがあります。故障ではありません。しばらくすると元にもどります。

### 警告

- 製品梱包用の袋はお子様の手の届かないところに保管または廃棄してください。
- 電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を分解・過熱したり、ショートや火中の投入などしないでください。

## 電波時計について

この時計は標準時刻電波を受信し時刻調整を行う時計です。

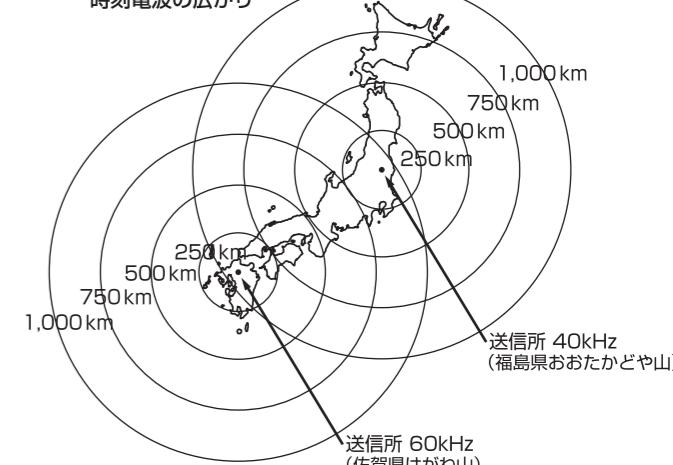
### ■電波時計について

本製品“電波時計”が受信するのは、情報通信研究機構(NICT)が日本標準時として運用している標準電波(JJJY)です。福島県おおたかどや山の福島局(周波数40kHz)、佐賀県はがね山の九州局(同60kHz)の2ヶ所から保守点検や雷対策作業などの場合を除いて、常時送信されています。

標準電波は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の「セシウム原子時計」によってコントロールされており、時刻のほかにカレンダーの情報も含まれています。

・この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 時刻電波の広がり



### ■受信範囲の目安

電波環境上、条件がよければ送信所から1,000km離れた場所でも受信できることがあります。

ただし、以下のような場所では電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けてご使用ください。

- 高層ビル群の谷間
- 鉄道・高速道路・空港の近辺
- 工事現場・高圧線等の近辺
- 悪天候(台風、雷、雪等)の時
- 家庭電化製品・OA機器のそばや金属製の家具の上など。

上記の条件にあてはまり、受信による時刻の時刻調整ができない場合は手動による時刻調整が可能です。

その場合は通常のクオーツ時計としてお使いいただけます。

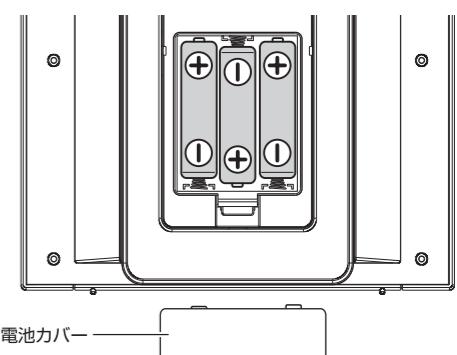
## 電池交換のお知らせ

画面に電池交換マーク  が表示されたときは、ご使用中の電池の残量が少なくなっているお知らせです。速やかにすべての電池を交換してください。放置をすると電池からの液漏れによる故障や損傷のおそれがあります。

## 電池交換

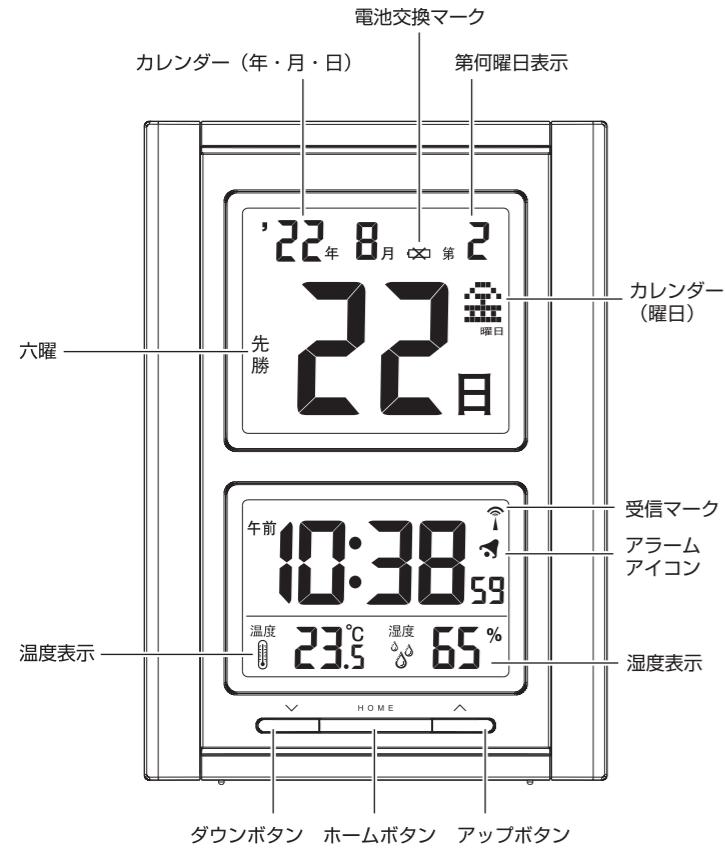
- ①裏面の電池カバーを外してください。
- ②電池ホルダーの $+$ 方向を間違えないように電池を完全にはめ込んでください。
- 使用電池は単3×3本です。
- 付属の電池はテスト用電池のため、本書記載の電池寿命に満たない場合があります。

※テスト用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことと、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

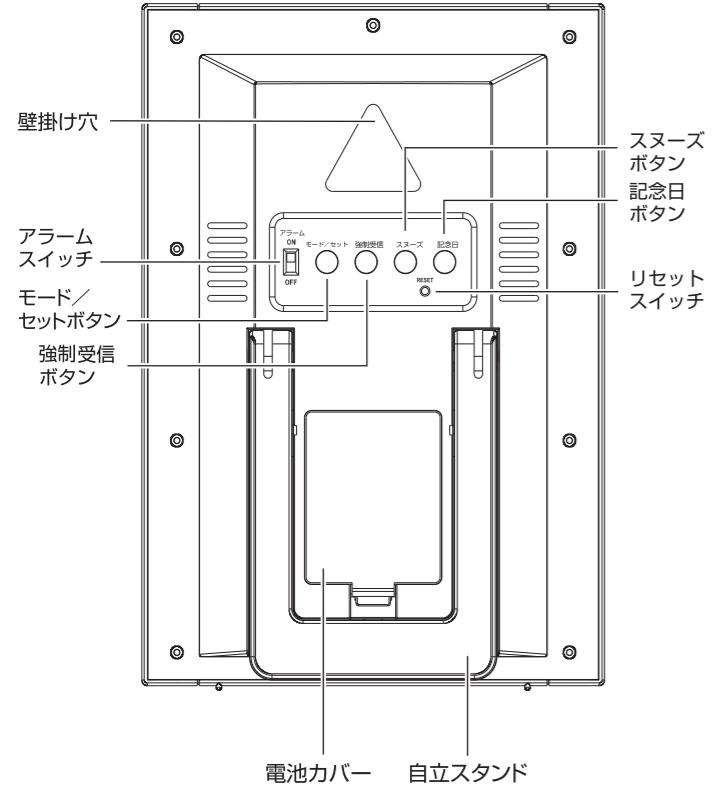


## 各部の名称

【正面】



【裏面】



## 電池のセットとその後の作動

はじめに、電池の $\oplus\ominus$ を正しくセットし、先端の細い棒でリセットスイッチを押してください。

表示が午前12:00:00、1月1日、木曜日と表示しますので、電波を受信しやすい窓際などの場所に設置してください。リセット後10分間受信作動をします。通常、受信には3~5分程度の時間を要しますが、設置場所の環境等によってはそれ以上の時間を要する場合があります。受信中は $\text{Wi-Fi}$ マークが点滅します。

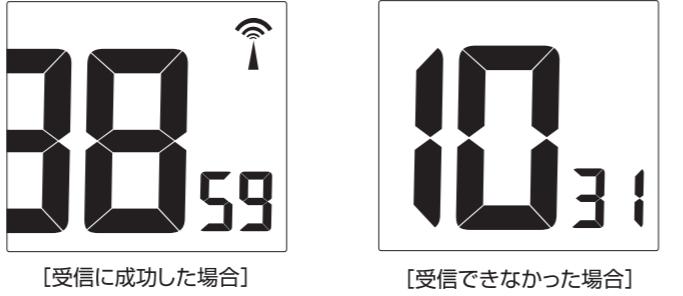
※受信作動中は本商品は移動させないでください。

※電波を受信中はボタン操作ができません(強制受信ボタンは除く)。

正常に電波を受信した場合、“ $\text{Wi-Fi}$ ”の表示が出て正確な時刻表示となります。(西暦、月日、時分秒、曜日)

正常に受信できなかった場合は場所を変えて再度受信操作を行なうか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

受信による時刻調整が正確に行なわれたあとは、1日1回(最多4回)の自動受信によって再度時刻調整を行ないます。



## 電波受信機能(強制受信)

通常表示のときに、強制受信ボタンを2秒以上押し続けると $\text{Wi-Fi}$ マークが点滅して受信を開始します。もう一度強制受信ボタンを2秒以上押し続けると受信動作は止まります。

## 温度・湿度表示

本製品の温度・湿度の表示は、センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるものまで時間がかかります。

## カレンダーの使いかた

過去・未来のカレンダーを見ることができます。ダウンボタンを押すと過去のカレンダーを確認することができます。アップボタンを押すと未来のカレンダーを確認することができます。過去・未来のカレンダーを表示中は“日”が点滅します。

※押したままの状態にすると早送りができます。

ホームボタンを押す、もしくは約15秒間操作をしないと通常時刻表示(当月表示)に戻ります。

## 六曜について

本製品は六曜を表示します。

六曜は暦注の1つで旧暦の月日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。

六曜は2000年~2050年まで表示します。2051年からは表示しません。西暦2033年~2034年については、旧暦(天保暦)の月名を決める法則では月名が決定できなくなるため、本製品は代替の基準を適用しています。このため、六曜の表示が他のカレンダーと異なることがあります。

※六曜は慣習として使われていますが、公的な機関が定めたものではありません。

標準電波受信による時刻調整ができない時は、次の操作をしてください。

## 日付時刻の合わせかた

●セット状態で表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。

通常表示であることをご確認ください。

1.モード/セットボタンを長押しする。(時セッタ表示に切り替わります。[点滅])  
再度モード/セットボタンを押すごとに点滅する表示が変わります。

2.アップボタン、ダウンボタンを使って、日付時刻(順番:時→分→秒→年→月→日)を合わせます。

◆日付は2000年1月1日~2099年12月31日までセットできます。  
正しく年月日をセットすると、自動的に曜日、六曜(2000年~2050年)を算出し表示します。

※押したままの状態にすると早送りができます。

3.日付時刻を合わせ終わったら、モード/セットボタンを押して完了です。

### 【通常表示】



### 【年セッタ表示】



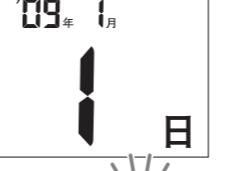
### 【時セッタ表示】



### 【月セッタ表示】



### 【分セッタ表示】



### 【秒セッタ表示】

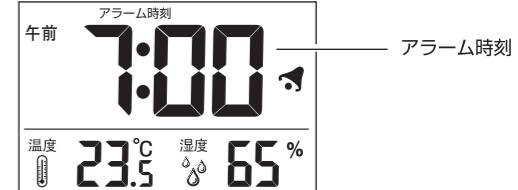


## アラーム時刻の合わせかた

●受信中(受信マークが点滅)は、アラームの時刻設定はできません。強制受信ボタンを長押しし、受信を中止してから操作してください。

通常表示であることをご確認ください。

モード/セットボタンを押すとアラーム時刻が表示されます。



アラーム時刻が表示されている状態でモード/セットボタンを長押しするとアラーム時刻が点滅します。アップボタンかダウンボタンを押して、時刻を指定してください。

※押したままの状態にすると早送りができます。

アラーム時刻を合わせ終わったら、モード/セットボタンを押して完了です。

●表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。

## アラームのオン／オフのセット

アラームスイッチでアラームオンとアラームオフを切り替えることができます。

■アラームオン： $\text{Speaker}$ マークが表示

セットされた時刻になるとアラーム音が鳴ります(2分間)。  
本体前面もしくは裏面のいずれかのボタン(スヌーズボタン以外)を押すとアラーム音は止まります(翌日同時刻にまた鳴ります)。

スヌーズボタンを押すと、アラーム音がいったん止まり、5分後にまたアラームが鳴ります(最大7回)。スヌーズ起動中は $\text{Speaker}$ が点滅します。

※スヌーズ機能は本体前面もしくは裏面のいずれかのボタン(スヌーズボタン以外)を押すと解除されます。

■アラームオフ：マーク表示なし

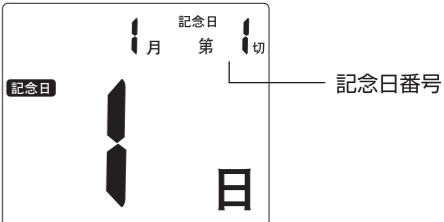
セットしたアラーム時刻になどもアラーム音は鳴りません。

## 記念日の表示と設定のしかた

記念日を最大18日分設定することができます。

記念日が当日の場合は日表示左の「記念日」マークが点滅します。いずれかのボタンを押すと点滅が終了し、「記念日」マークが点灯します。

【記念日設定画面】



1. 記念日ボタンを押します。記念日設定画面が表示されます。

2. 記念日ボタンで記念日番号(第1~第18)を選択します。

3. 記念日ボタンを長押しします(「切」が点滅)。

4. アップボタンまたはダウンボタンで「入」を選択します。

5. 記念日ボタンを押します(記念日の「月」が点滅)。

6. アップボタンまたはダウンボタンで月をセッタします。

7. 記念日ボタンを押します(記念日の「日」が点滅)。

8. アップボタンまたはダウンボタンで日をセッタします。

9. 記念日ボタンを押すと記念日がセッタされます。

記念日設定が終了したら、ホームボタンを押して完了です。

●表示を点滅したままにしておくと、約15秒後自動的に通常表示に戻ります。

※2月29日を記念日として設定した場合は、うるう年のみ記念日を表示します。

※記念日は年と時刻の設定はできません。

※設定した記念日を表示させない場合は、手順4で「切」を選択してください。